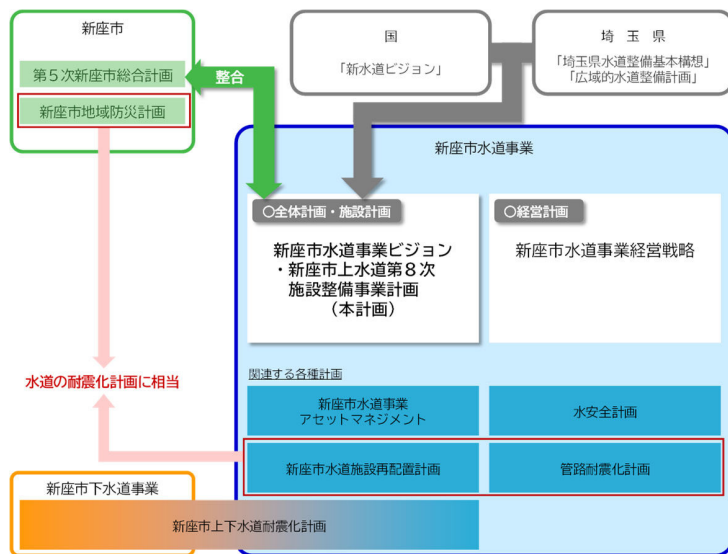


新座市水道事業ビジョン・新座市上水道第8次施設整備事業計画書（概要版）

第1編 新座市水道事業ビジョン

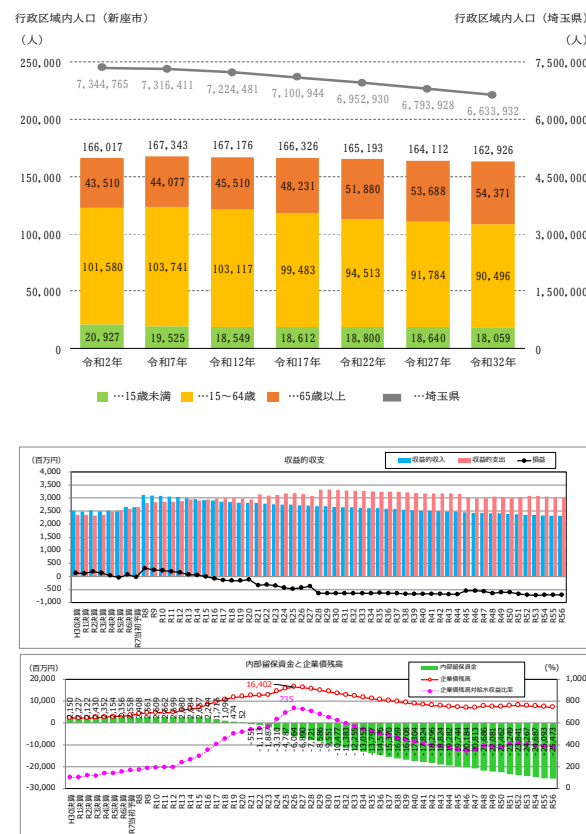
1. 計画の目的と背景（第1章）

- 新座市水道事業では、施設の老朽化・耐震対策、財源の確保、維持管理の効率化が求められている。
- 現状を踏まえ、上位計画等との整合を図りながら、事業の方向性及び施設整備の方針を定めるものとして「新座市水道事業ビジョン」を策定する。
- 計画期間は令和8（2026）年度から令和17（2035）年度までの10か年とする。



2. 水道事業の現状と将来見通し（第2章、第3章）

- 給水人口・有収水量**：将来は給水人口・有収水量ともに減少傾向となるため、事業規模の縮小や施設の効率化を実施する必要がある。
- 施設の老朽化**：老朽化により将来の更新需要が増加する一方で、更新が困難な浄水場もあるため、浄水場の統廃合について検討する必要がある。
- 水源対策**：水源水質の観点及び更新用地の確保に課題を抱える井戸があるため、自己水源の将来のあり方を検討する必要がある。
- 資金の確保**：令和8年度に料金改定予定だが、健全経営を確保するために、今後も適正な料金水準を検討する必要がある。
- 職員数の確保**：特に技術職員については、若年化、平均経験年数の低下が見られる。増加する工事量に対応するために、官民連携等の検討が必要である。



3. 水道の理想像と目標、推進する実現方策（第4章、第5章）

新座市水道事業

基本理念 「未来もずっと安心な水 暮らしを彩る新座の水道水」

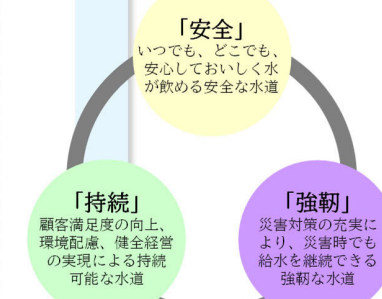
現状評価・課題

- 施設の老朽化・耐震化対策と施設能力の適正化
- 人材確保と技術の継承
- 経費削減等による健全経営の維持

将来の事業環境

- 水源水質の劣化、施設の老朽化
- 給水収益の減少
- 職員数の確保、増加する工事量への対応

目標設定



推進する実現方策

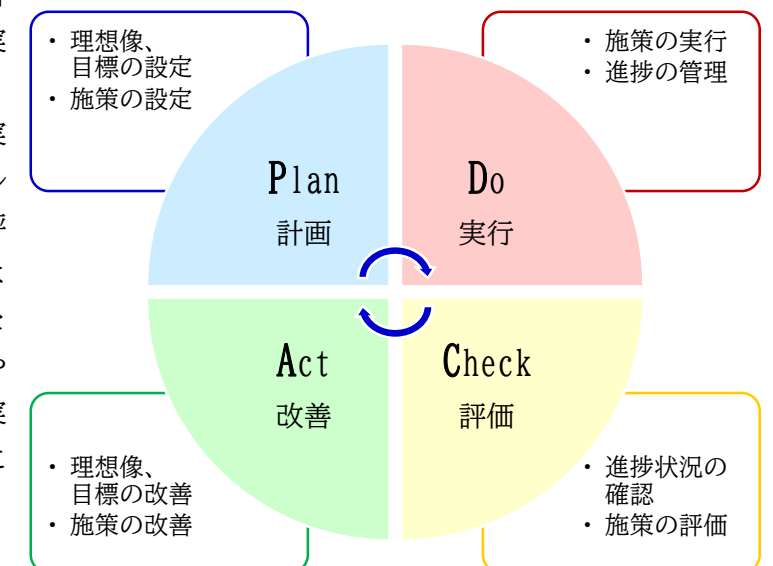
- 「安全」**
 - (1) 水安全計画の活用
 - (2) 水質監視の徹底
 - (3) 自己水源の統廃合
- 「強靱」**
 - (1) 浄水場の老朽化対策と統廃合の推進
 - (2) 管路の耐震化
 - (3) 災害時の対応強化
- 「持続」**
 - (1) サービス改善と顧客満足度向上
 - (2) 環境負荷の低減に向けた取組
 - (3) 技術の継承と官民連携の推進
 - (4) 経営の効率化と水道料金適正化

理想像

信頼を基盤に、いつでも、どこでも、安全な水を安定して供給する新座の水道

4. ビジョンの実現に向けて（第6章）

- 水道事業の経営環境は、外部環境、内部環境ともに絶えず変化していく。こうした状況において、これからも利用者の信頼を得て水を供給し続けるために、新たな事業環境に適応するための「挑戦」と多様な関係者との「連携」により効果的に実現方策を推進する。
- 新座市水道事業の理想像を実現するために、PDCAサイクルにより必要に応じて全体評価、見直しを行う。これにより、事業の進捗に伴う課題を明らかにし、事業の効率性や有効性を検証し、理想像の実現に向けて効率的・効果的に事業を実施する。



第2編 新座市上水道第8次施設整備事業計画

1. 策定の目的と計画の位置づけ（第1章）

- 新座市の水道システムは、施設配置の転換期にあり、令和6年度には「新座市水道施設再配置基本計画」「新座市水道事業経営戦略」「新座市管路耐震化計画」を策定してきた。
- 本計画は、「安全で強靱な水道の持続」の実現に向けて、新座市におけるこれからの水道施設整備の基本方針と今後5年間の具体的な整備目標を定めるものである。
- 計画期間は令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とする。

2. 水道施設再整備計画（第2章）

- 「新座市水道施設再配置基本計画」では、浄水場及び水源の現状の課題と将来の方向性を踏まえて、西堀浄水場を基幹浄水場とする施設配置の基本方針と整備事業の概要を示した。
- 第8次施設整備事業計画では、水道施設再配置に向けた基本設計及び導入可能性調査を実施する。既設の浄水場施設及び設備は、老朽化施設の更新等、必要な維持管理事業を実施する。

3. 維持管理体制の強化（第3章）

- 「新座市水安全計画」を活用した運転管理マニュアルの整備、維持管理計画の継承と体制強化を図る。
- 多様な外部委託制度を活用して、現在の包括委託業務の内容を継続しつつ、水道施設再配置事業は導入可能性調査等により適切な整備手法を選択して事業を促進する。
- 管路の漏水対策として、漏水調査を計画的に実施する。
- 濁り水対策として、洗管作業を計画的に実施する。
- 管路の付属設備が確実に動作するよう、消火栓及び空気弁の点検を計画的に実施する。

4. 管路整備計画（第4章）

- 「新座市管路耐震化計画」では、本市の管路整備の現状を踏まえて、今後の管路耐震化の基本方針を示した。
- 本計画では、重要給水施設管路の耐震化を継続して実施する。
- 基幹管路は老朽化が進んでいるため、更新優先度の高いものから順に更新する。
- 特殊管（橋梁添架管及び軌道横断）についても、漏水した際の修理が困難で、漏水時の二次被害の恐れがあるため、老朽化しているものから順に更新する。

5. 防災対策（第5章）

- 施設の耐震性、飲料水の確保及び水道施設の安全確保と充実を図る。
- 応急復旧・応急給水の訓練を実施するとともに、応急復旧応援受入体制を整備する。
- 飲料水等の調達体制を整備する。
- 地域防災計画と整合を図り、非常時における飲料水等の供給計画を設定する。
- 災害時における飲料水の確保に関して、市民に対する指導・啓発を行う。

6. 施設整備事業計画のまとめ（第6章）

事業項目			合計	概算事業費（税抜千円）						
				令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度		
水道施設再整備計画										
1. 水道施設再配置計画										
用地購入			資本的支出 土地購入費	553,434	←306,306	→247,128				
現地測量、横断測量			資本的支出 委託料	7,500	←7,500					
地質調査、ボーリング			資本的支出 委託料	25,500	←25,500					
基本設計及び導入可能性調査			資本的支出 委託料	126,930	←63,465	→63,465				
アドバイザー			資本的支出 委託料	46,700			←23,350	→23,350		
DBO 詳細設計 ※R13までの継続事業。総額は税抜336,950千円			資本的支出 委託料	168,475				←168,475		
小計（資本的支出）			委託料	375,105	96,465	63,465	23,350	23,350	168,475	
			土地購入費	553,434	306,306	247,128	0	0	0	
2. 老朽設備更新等										
西堀4号井	浚渫工事	資本的支出 請負工事費	11,000		←浚渫工事	→11,000	※令和10年度以降の整備事業の内容は、西堀浄水場の再配置計画に関する基本設計の内容を踏まえて決定する。 なお、西堀浄水場の井水着水井は、早期に更新・耐震化に着手する。			
西堀5号井	浚渫工事	資本的支出 請負工事費	9,100		←浚渫工事	→9,100				
西堀浄水場	ろ過機	資本的支出 請負工事費	247,000		←更新工事	→247,000				
	1号揚水ポンプ	ポンプ 資本的支出 請負工事費	45,300		←更新工事	→45,300				
	制御盤	資本的支出 請負工事費	78,000		←更新工事	→78,000				
	11号揚水ポンプ	制御盤 資本的支出 請負工事費	78,000		←更新工事	→78,000				
	場内送水管補修工事 （表面保護、フランジ補強）	資本的支出 請負工事費	174,300		←補修	→174,300				
片山浄水場	配水池内清掃及び調査	収益的支出 委託料	6,100		←清掃・調査	→6,100				
	場内送水管補修工事 （表面保護、フランジ補強）	資本的支出 請負工事費	60,190		←補修	→60,190				
野火止浄水場	配水池内清掃及び調査	収益的支出 委託料	6,100		←清掃・調査	→6,100				
各浄水場	受配水池壁面補修 設計	資本的支出 委託料	29,000	←設計	→29,000					
	受配水池壁面補修	資本的支出 請負工事費	282,160		←補修(野火止)	補修(片山)	補修(西堀)	→119,560		
	管末測定所水質監視装置	資本的支出 請負工事費	97,000			←更新工事	→97,000			
	小計	(収益的支出)	委託料	12,200	6,100	6,100	0	0	0	
小計（水道施設再整備計画）	(資本的支出)	請負工事費	1,082,050	517,590	249,170	195,730	119,560	0	0	
	(収益的支出)	委託料	29,000	29,000	0	0	0	0	0	
	(資本的支出)	委託料	12,200	6,100	6,100	0	0	0	0	
	(資本的支出)	請負工事費	1,082,050	517,590	249,170	195,730	119,560	0	0	
	(資本的支出)	委託料	404,105	125,465	63,465	23,350	23,350	168,475	0	
			土地購入費	553,434	306,306	247,128	0	0	0	
管路整備計画										
1. 導・送・配水管の耐震化										
管路耐震化			資本的支出 請負工事費	2,420,665	←410,768	364,220	546,532	556,120	→543,025	
小計（資本的支出）			請負工事費	2,420,665	410,768	364,220	546,532	556,120	543,025	
2. 場内配管の耐震化										
場内配管耐震補強			資本的支出 請負工事費	145,456	←36,364	36,364	36,364	36,364		
小計（資本的支出）			請負工事費	145,456	36,364	36,364	36,364	36,364	0	
3. 区画整理・舗装復旧・設計委託										
区画整理			資本的支出 請負工事費	227,275	←45,455	45,455	45,455	45,455	→45,455	
舗装復旧			資本的支出 請負工事費	318,180	←63,636	63,636	63,636	63,636	→63,636	
設計委託			資本的支出 委託料	128,330	←22,360	20,030	29,150	29,630	→27,160	
小計			(資本的支出)	請負工事費	3,111,576	556,223	509,675	691,987	701,575	652,116
			(資本的支出)	委託料	128,330	22,360	20,030	29,150	29,630	27,160
小計（管路整備計画）			(資本的支出)	請負工事費	3,111,576	556,223	509,675	691,987	701,575	652,116
			(資本的支出)	委託料	128,330	22,360	20,030	29,150	29,630	27,160
合計			(収益的支出)	委託料	12,200	6,100	6,100	0	0	0
			(資本的支出)	請負工事費	4,193,626	1,073,813	758,845	887,717	821,135	652,116
			(資本的支出)	委託料	532,435	147,825	83,495	52,500	52,980	195,635
			(資本的支出)	土地購入費	553,434	306,306	247,128	0	0	0
参考（経営戦略 事業費）			(資本的支出)	3,467,955	600,880	536,000	722,650	740,650	867,775	